

第 1 回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 平成 25 年 4 月 8 日（月）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催場所 豊橋市役所東 4 1 会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 8 名（石原委員長、世羅副委員長、伊藤委員、大久保委員、
功刀委員、諏訪委員、富田委員、村松委員）
豊橋市 4 名（金田総務部長、古池行政課長、木和田行政課主幹、
小林行政課長補佐）
4. 欠席者 なし
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第 1 回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の金田より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	本日はご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 外部視点による行財政改革プランの取組状況の検証につきましては、ご承知のとおり昨年度から新たにスタートしたもので、試行錯誤を繰り返しながらも、当初のスケジュールに沿って事務を進めることができました。お礼を申し上げます。 本日は、昨年 1 2 月の委員会でこちらからお示した初年度の課題・問題点に対する委員の皆様からのご意見を基に、本年度の運営に反映しましたので、そちらをご確認いただきたいと考えております。また、昨年度はすべての評価シートを皆様に評価していただきましたが、本年度より対象を絞り、中身を深く評価していただきたく、どの取組を評価するのかについて、ご意見を伺いたいと考えております。7 月 6 日の公開プレゼンテーションまで、何かとご負担をおかけしますが、プランの目的である豊橋の活力向上のため、お力添えくださいますようよろしくお願いいたします。
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお願いしたいと思います。 委員長、よろしくお願いいたします。

発言者	要 旨
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。次第3の(1)にございます、「内部評価結果等について」、事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課主幹)	お手元の資料1をご覧ください。 《資料1「内部評価結果等について」を説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
世羅委員	達成度判断基準の部分では、達成度CとEの判断基準についての記載が見られないが、達成度CとEの基準を教えてください。
事務局 (行政課主幹)	お手元にあります、資料4「実施要領」の2ページをご覧ください。評価区分のCは、「完了」となっており、補助金・負担金・事業の見直しなど取組の目的を達成し、取組を完了したものです。Eについては、「中止・保留」とあり、取組を中止・保留したものです。
世羅委員	評価シートを見ると、平成23年度はB評価だったものが24年度はD評価となっているものが多く見受けられるが、これは基準が明確化されたことが影響しているのか。
総務部長	内部評価が変化した理由は取組によって様々ですが、内部評価の客観性をより高めた結果としての変化であると受け止めております。
世羅委員	23年度に外部評価した時のコメント欄に「B評価では高すぎる」と記載のあったものが24年度の内部評価ではD評価になっている。外部評価も一定の効果があったかと思う。
功刀委員	評価シートの記載のうち、年次目標の部分は行財政改革プラン作成当初に設定したまま変更しないのか。 昨年度、目標数値が高すぎるのではと感じた取組については、今年度も「なぜその数値なのか」という記載がないため、各部局の目標設定方法が疑問である。

発言者	要 旨
事務局	効果目標については、プラン策定当初から据え置きとなつていますが、各年度の目標については、昨年度の外部評価の結果を反映して記述を変更した部局もありますし、目標数値を達成したため各年度の目標数値を上げた部局もございます。
総務部長	昨年度の外部評価を受け、各部局に対して目標設定を徹底するよう指示した結果として、各年度の目標を変更した部局も出てきている状況です。
大久保委員	達成度 120%以上が A 評価で、B が 100% というのは、平成 24 年度の内部評価から取り入れた指標ということによろしいか。
事務局 (行政課長)	平成 23 年度内部評価では、評価基準があいまいな部分があるので、24 年度より A 評価については達成度 120% 以上、B 評価については達成度 100% 以上 120% までという記載を追加しました。
諏訪委員	平成 24 年度の内部評価において、D 評価が増えた理由の中に、補助金・負担金などの節減という説明があった。金額そのものは減らなくとも、事業内容の質を変えたものはどうやって評価すべきか。各課が努力していると受け止めるべきか、金額の削減のみを評価すればいいのか。
事務局 (行政課長)	各課の目標の立て方によりますが、行財政改革プランの統一的な目標として、「総額 70 億円」とありますので、金額の削減という観点から評価をお願いしたいと思っております。
富田委員	例えば、「公募委員の拡大」という効果目標に対する 23 年度と 24 年度の内部評価について述べると、記載の変化はあまり見られない。 「市の人口に対して何%に増加」といった記述にするとより分かりやすくなったのではと感じる。
総務部長	「公募委員の拡大」という目標自体が曖昧で、このように相変わらず定量的でない効果目標が掲げられている取組の各年度の目標設定と成果の記載には課題が残っているという認識です。
村松委員	評価シートの記載の中で、例えば、「何万円の削減」とある

発言者	要 旨
	<p>が、何から削減しているのかが分からない。</p> <p>また、内部評価でA評価となっているのに、A評価であると判断した数字の根拠が見られないものもある。目標が明らかであるのに、内部評価の達成度の根拠が不明確な場合は、外部評価ができない。来年度への課題として検討していただきたい。</p>
石原委員長	<p>続きまして、次第3の(2)にございます、「外部検証委員会による書類評価に付す取組(案)等について」、事務局より説明を願います。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>《資料2-1「外部検証委員会による書類評価に付す取組(案)について」説明》</p> <p>《資料2-2「外部検証委員会による書類評価に付す取組(案)(81取組)」について説明》</p> <p>《資料3「書類評価の分担について」説明》</p> <p>《資料4「豊橋市行財政改革プラン評価実施要領(平成24年度取組に対する評価)」について説明》</p>
石原委員長	<p>ただ今の説明についてご意見・ご質問はありますか。</p>
伊藤委員	<p>資料2-1にある、書類評価に付す取組の選定条件についてだが、24年度の内部評価がC評価となり、事業が完了したものをなぜ選定するのか。また、昨年度の公開ヒアリングで取り上げたものを今年度も外部評価する目的はなぜか。</p>
事務局 (行政課長)	<p>事業が完了したものについては、今年度外部評価をしていただかなければ、今後評価していただく機会がないことから選定いたしました。</p> <p>公開ヒアリングで取り上げた取組につきましては、ヒアリングを受けてどのような改善が見られているのかを、委員の皆様へ評価していただきたいという趣旨で選定いたしました。</p>
大久保委員	<p>資料4の9ページにある、指標4「経済的効果に関する指標」についてだが、目標欄には人件費の目標数値が記載されているが、実績値としては算出されないのか。</p>
総務部長	<p>平成23年度実績のうち、約3億円が人件費の実績となっております。目標に対応した記載とするようにいたします。</p>

発言者	要 旨
功刀委員	資料 2-1、外部評価に付す取組の選定条件についてだが、「市における重要度の高いものなど」の項目のウが「市民生活に密接に関わるもの（医療、福祉、環境、防災など）」となっている。この「など」とは何を指すのか。
事務局	市として外部評価していただきたいシートも含まれていると考えていただければと思います。例えば、取組 No. 119「公共施設マネジメントの強化」は市として重点的に進めている事業であり、市民にとっても重要なものと考えられますので、「市民生活」の枠に入れ、評価していただきたい取組として選定しました。
石原委員長	事務局が提案している 81 取組というのは、あくまでも案なので、委員の皆さんから追加したいものを 2・3 個選んではどうでしょうか。
富田委員	取組 No. 153 の下水道や浄化槽に関する取組は、市民生活に直結するものだと考える。上下水道局の取組として大きなものはどれか。
事務局 (行政課長)	取組 No. 154 は現在上下水道局が力を入れて取り組んでいることから、こちらはいかがでしょうか。
村松委員	取組 No. 83 は、東三河地域の医療体制確保に向けて連携をしっかりと考えていかなければならないと思う。市民生活にも重要なテーマだ。
石原委員長	事務局として、追加したいと考えている取組はありますか。
事務局	これまでの委員のみなさまの意見を伺い、市民生活という枠をもう少し広く捉えると、市民協働の観点から、取組 No. 64「協働を推進するための職員のサポート体制の強化」を追加してはどうでしょうか。
石原委員長	それでは、取組 No. 154、83、64 の 3 項目を追加し、84 取組を外部評価に付すことに決定したいと思いますが、委員の皆様の見解はいかがでしょう。
委員一同	異議なし。
石原委員長	次に、外部評価の分担を決める作業に入りたいと思います。1 班（石原、富田委員）、2 班（世羅委員、功刀委員）、3 班（伊藤委員、大久保委員）、4 班（諏訪委員、村松委員）

発言者	要 旨
	という班分けはいかがでしょうか。
委員一同	異議なし。
石原委員長	それでは、外部評価の分担は先ほどの班に決定します。続きまして、次第3の(3)にございます、「平成25年度外部検証委員会実施計画等(案)について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	《資料5「平成25年度外部検証委員会実施計画等(案)について」説明》
石原委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>第2回外部検証委員会は5月9日、第3回は5月31日に開催することとします。また、書類評価の事務局への提出が4月24日となっています。ご協力をお願いします。</p> <p>本日の議事は以上になりますが、この他に何かご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。特にないようですので、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>